

参考様式第1号

令和3年度

### 政務活動費支出伝票（一般）

会派名 主体的市民の会

伝票番号 1

代表者	経理責任者	支出年月日	区分
		3年5月8日	調査研究費・研修費・ <u>広報広聴費</u> ・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費
支払先 スターバックスコーヒー函館 蔦屋書店			支払金額 1,089円
摘要（品名）	数量	単価	金額
市民相談（新型コロナウイルスの影響による 女性の悩み、生理の貧困関連） 対応経費（内訳別紙）	1式	1,089	1,089円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

#### 【領収書等貼付欄】

## 領収証

No. ....

主体的市民の会 荒下 明美 様      2021 年 5 月 8 日

金額

¥1089

但  J-C-代として  
 飲食料品等(軽減税率対象)

上記正に領収いたしました

内 8%(税込・税抜)金額      消費税額等

10%(税込・税抜)金額      消費税額等

990 / 99

現金・カード・( )

HISAGO #778

スターバックス コーヒー  
函館 蔦屋書店  
北海道函館市石川町85-1  
TEL 0138-47-2246  
FAX 0138-47-3181

登録番号

(参考様式 別紙2)

市民相談の概要

区 分	内 容	
市民相談の内容	新型コロナウイルス感染拡大にともない、顕在化した女性の貧困や生理の貧困についての相談、それらから派生した若い女性たちの日頃の悩みや課題について相談を受けた。 本件について、新型コロナウイルス関連にともなう経済問題、生理用品についての課題等は、担当部局に確認してご連絡することとした。	
日 時	令和3年 5月 8日(木) 10:00 ~ 11:50	
場 所	スターバックスコーヒー函館蔦屋書店	
対応者	対応議員氏名	荒木明美
	その他参加者	2 人
支出内訳		金 額
食糧費	飲物代金 330円×3人=990円(+税99円)	1,089円
合 計		1,089円

令和3年度

政務活動費支出伝票（旅費）

会派名 主体的市民の会

伝票番号 2

旅行承認年月日	代表者	経理責任者	支払年月日	区 分
令和3年6月26日			令和3年6月27日	・調査研究費 研修費
	氏 名	金 額	受領印	受領年月日
1	荒木 明美	110,580円		令和3年6月27日
2				年 月 日
3				年 月 日
4				年 月 日
支払金額合計		110,580円		
旅行の目的 「DX政策と推進方策－自治体DX推進計画・手順書」「情報システムの標準化・共通化」参加のため。				
用務地 東京都				
旅行の行程			旅費の内訳（1人当たり）	
6/30	函館→羽田→品川	路線バス, 私鉄		1,000円
7/1	東京滞在	J R		0円
7/2	東京滞在	航空賃		42,480円
7/3	品川→羽田→函館	日 当		12,000円
		宿泊費		25,100円
/		参加費		30,000円
/		その他		
/		合 計		110,580円

領収書等は、別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

# 出張報告書

令和3年7月10日

主体的市民の会 荒木明美 様

出張者氏名 荒木明美



下記のとおり出張したので報告します。

## 記

1 出張期間	令和3年 6月 30日 ~ 7月3日 (4日間)
2 用務地	① 7月 1日 東京都中央区 市・町
	② 7月 2日 東京都中央区 市・町
	③ 月 日 市・町
3 出張概要	① 日時 令和3年 7月 1日 (木) 10:00~17:00 場所 東京ユビキタス協創広場CANVAS・会議室
	② 日時 令和3年 7月 2日 (金) 10:00~17:00 場所 東京ユビキタス協創広場CANVAS・会議室
4 所見	別紙。
備考	

(参考様式 別紙 1)

研修会、意見交換会、報告会等の会議（開催・参加）の概要

区 分	内 容	
会議等の名称	①「DX政策と推進方策－自治体DX推進計画・手順書」 ②「情報システムの標準化・共通化」	
会議等の目的	国のデジタル庁発足にともない、国および自治体のDX化はゴールの日程が決められ、今後DX推進は加速化することが伺える。そこで、具体的に中核でDXに関わる官庁や企業の方から具体的な進め方、進捗状況、地方で注意すべきことについての講義を受けるため。	
日 時	令和3年 7月 1日（木）10:00～17:00（①） 令和3年 7月 2日（金）10:00～17:00（②）	
場 所	内田洋行 東京ユビキタス協創広場CANVAS・会議室	
出席者	出席議員氏名	荒木明美
	講師等の氏名	笹野健（内閣官房番号制度推進室・内閣府番号制度担当室参事官）、三木浩平（内閣官房情報通信技術総合戦略室政府CIO補佐官）他
	その他参加者	①44名 ②52名
支出内訳		金 額
旅費	68,780×1人=68,780	68,780円
参加費	15,000×2講座×1人=30,000	30,000円
日当	3,000×4日=12,000	12,000円
合 計		110,780円

領 収 証

No. 1090

主体的市民の会  
荒木 明美 殿

金額	¥	15000			
----	---	-------	--	--	--

但し 1/2 DX政策と推進方策—自治体DX推進計画 申請書 セミナー参加費  
上記金額正に領収いたしました として

2021 年 7 月 1 日

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-3-10  
TEL03 (3234) 1231 株式会社ライオンズ平河町

株式会社 地域 研究 会  
代表取締役 富 美 雄



領 収 証

No. 1086

主体的市民の会  
荒木 明美 殿

金額	¥	15000			
----	---	-------	--	--	--

但し 1/2 情報システムの標準化・共通化 セミナー参加費として  
上記金額正に領収いたしました

2021 年 7 月 2 日

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-3-10  
TEL03 (3234) 1231 株式会社ライオンズ平河町

株式会社 地域 研究 会  
代表取締役 富 美 雄



# 搭乗証明書

WEB d3a54f3bd0-133528-0-1

表示日 2022年04月05日(火)

搭乗者 アラキ アケミ様

搭乗日 2021年06月30日(水)

航空会社 ANA

便名 4760

区間 函館 - 東京(羽田)

AIRPORT CODE:HKD-HND

FARE TYPE CODE:VW03I

ANA A STAR ALLIANCE MEMBER

ANA/全日本空輸株式会社  
ANA/ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD

## 各種代金お支払い 取扱明細書兼領収書 (お客様控)

発券日 2021年06月27日 時間 18時38分 お支払い金額  
19596-6 七飯町大川 42,480円

ANA(全日本空輸株式会社)

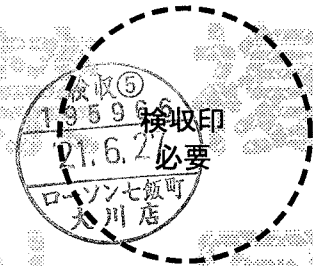
お客様氏名 主体的市民の会 荒木 明美  
下記予約を承っております。 全1名 全2旅程分の金額です。  
出発日 便名 区間 出発時刻 出発日 便名 区間 出発時刻  
06/30 ANA4760 函館 -羽田 1645 07/03 ANA555 羽田 -函館 1315

お支払い後の返金は当店ではお受けできません。お支払い内容に関しては下記へお問合せください。

お問い合わせ先: 会員専用デスク  
電話: 0570-029-767 受付時間: 06:30-22:00

収納代行会社  
ウエルネット株式会社

申込No.: 1959671786712995  
この明細書は大切に保管してください。



# 搭乗証明書

WEB d3a54f3bd0-133553-0-2  
表示日 2022年04月05日(火)

搭乗者 アラキ アケミ様  
搭乗日 2021年07月03日(土)  
航空会社 ANA  
便名 555  
区間 東京(羽田) - 函館

AIRPORT CODE:HND-HKD  
FARE TYPE CODE:VV03G

**ANA** A STAR ALLIANCE MEMBER   
ANA/全日本空輸株式会社  
ANA/ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD



お 勘 定 書

ミレニアム三井ガーデンホテル東京

MITSUI GARDEN HOTELS

〒104-0061

東京都中央区銀座5-11-1

TEL. 03-3549-3331 FAX. 03-3248-1255

URL. <https://www.gardenhotels.co.jp>

お名前 荒木明美 様

お部屋番号 902 ご人数 1

ご到着 2021/06/30 ご出発 2021/07/01

日付	科目名	部屋番号	料 金	お支払等	摘 要
06/30	お預かり金 パック料金	902	8,700	8,700	1

ご利用金額	8,700	領収済金額	0
		今回入金額	8,700
		(内 宿泊税等:	0)

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。  
表示金額は消費税等を含んでおります。  
伝票等につきましては、すでにお渡し済みでございますので、再発行致し兼ねます。

ご署名

発行番号 063028205742 P 1 3 28 P PA R0  
21/06/30 19:06 MIL0060

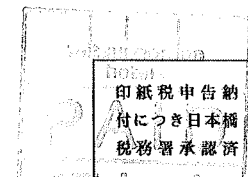
063028205742

領 収 書

日付 2021/06/30

お名前 主体的市民の会 荒木明美 様

金額 ¥8,700-



株式会社三井不動産ホテルマネジメント  
作成地住所  
東京都中央区日本橋本町2丁目2番5号

ミレニアム三井ガーデンホテル東京  
MITSUI GARDEN HOTELS

〒104-0061

東京都中央区銀座5-11-1

TEL. 03-3549-3331 FAX. 03-3248-1255

URL. <https://www.gardenhotels.co.jp>

上記金額確かに領収いたしました。  
表示金額は消費税等を含んでおります。

お 勘 定 書

三井ガーデンホテル銀座五丁目

MITSUI GARDEN HOTELS

〒104-0061

東京都中央区銀座5-13-15

TEL. 03-6226-5131 FAX. 03-6226-7031

URL. https://www.gardenhotels.co.jp

お名前 荒木明美

様

お部屋番号 610

ご人数 1

ご到着 2021/07/01

ご出発 2021/07/03

日付	科目名	部屋番号	料 金	お支払等	摘 要
07/01	お預かり金	610		16,400	
	パック料金		8,200		
07/02	パック料金	610	8,200		

ご利用金額

16,400 領収済金額

0

今回入金額

16,400

(内 宿泊税等:

0)

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。

表示金額は消費税等を含んでおります。

伝票等につきましては、すでにお渡し済みでございますので、再発行致し兼ねます。

ご署名

発行番号

070105206436 P 1 3 5 P PA RO

21/07/01 17:18 HGZ0020

070105206436

領 収 書

日付 2021/07/01

お名前 主体的市民の会 荒木 明美 様

金額 ¥16,400-

上記金額確かに領収いたしました。

表示金額は消費税等を含んでおります。

印紙税申告書 株式会社三井不動産ホテルマネジメント  
 付につき領収書作成地住所  
 税務署承認済 東京都中央区日本橋本町2丁目2番5号

PAID  
 領収済  
 三井ガーデンホテル銀座五丁目  
 MITSUI GARDEN HOTELS

〒104-0061

東京都中央区銀座5-13-15

TEL. 03-6226-5131 FAX. 03-6226-7031

URL. https://www.gardenhotels.co.jp

【第1回(通算99回)】2021年7月1日(木)10:00~17:00

【第2回(通算100回)】2021年7月2日(金) 10:00~17:00

自治体DXの実装化①—

自治体DXの実装化②—

# DX政策と推進方策—推進計画・手順書

# 情報システム・業務の標準化・共通化

~システム標準化・共通化、行政手続オンライン化、  
人材確保・育成と実現方策~

~標準化と実装環境、税・福祉・就学業務  
プロセス標準化、そして2025年への展望~

【第1回】自治体DX推進セミナー

2021年7月1日(木) 10:00~17:00

自治体DXの実装化①—

# DX政策と推進方策—自治体DX推進計画・手順書

~システム標準化・共通化、行政手続オンライン化、人材確保・育成と実現方策~

■自治体DX実装化—標準化・共通化と推進方策

□自治体DX推進計画と推進手順書への対応方策

■マイナポータル活用の行政手続オンライン化方策

□〔神戸市〕DX推進政策とデジタル人材の確保・育成

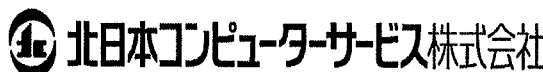
時	講 義 内 容
10:00 ~ 11:00	1. 自治体DXの推進及び手順書について (1)自治体DX推進計画について (2) (仮称)自治体DX推進手順書について  総務省自治行政局地域情報化企画室課長補佐 米田 圭吾氏  【質疑応答】
11:10 ~ 12:10	2. マイナポータルの活用による自治体の行政手続オンライン化の方策と推進 (1)マイナポータルのUI・UXの改善 (2)マイナポータルによる自治体の行政手続のオンライン化支援 (3)マイナポータルの今後の展望  内閣官房番号制度推進室・内閣府番号制度担当室参事官 笹野 健氏  【質疑応答】
13:10 ~ 14:20	3. スマート自治体実現に向けた自治体DXの実装化 (1)なぜDXが必要なのか (2)自治体システム標準化・共通化 (3)自治体DX推進計画・手順書 (4)DX推進の際に考えたいこと  武蔵大学社会学部メディア社会学科教授 総務省「地方自治体のデジタルトランスフォーメーション推進に係る検討会」/「住民記録システム等標準化検討会」/「税務システム等標準化検討会」各座長 庄司 昌彦氏  【オンライン講演(予定)】 【質疑応答】
14:30 ~ 15:40	4. 〔神戸市〕DXの推進政策とデジタル人材の確保・育成方策 (1)神戸市のDXの経緯 (2)DXを推進する人材確保と育成 (3)神戸市が考えるDXの本質 (4)DX推進に向けた次の一手  神戸市企画調整局デジタル戦略部長 総務省「地方自治体のデジタルトランスフォーメーション推進に係る検討会」構成員 森 浩三氏  【質疑応答】
15:50 ~ 17:00	5. 自治体DXの実装化と推進手順—どう捉え、実行するか ~デジタル庁設置等の展開を受けた方策と検討事項~ (1)デジタル改革関連法とデジタル庁設置 (2)自治体におけるDXとは何か、その本質と捉え方 (3)「自治体DX推進計画」と実行のための組織体制・実施手順・検討事項など (4)自治体DXが目指すべき姿とその展望  富士通Japan㈱行政ソリューションビジネス統括部 行政第一ソリューションビジネス部 電子自治体推進パートナーズ会長 榎並 利博氏  【質疑応答】

※セミナー終了後の恒例の情報交流・交換会は、新型コロナウイルス感染予防のため、今回は開催致しません。

「電子自治体推進パートナーズ」第11期事業【戦略セミナー】を応援します



特別協賛(会場提供)



自治体DXの実装化②

# 情報システム・業務の標準化・共通化

～標準化と実装環境、税・福祉・就学業務プロセス標準化、そして2025年への展望～

- 標準化法・戦略とガバメントクラウド □業務(税介護福祉就学事務)プロセスの標準化と実装機能
- APPLICの自治体システム標準化への取り組み □[パネル討論]自治体・事業者は何をどう対応すべきか

時	講義内容
10:00	1. 自治体情報システムの標準化とガバメントクラウドへの実装 ～検討経緯と2025年に向けた可能性について解説～ 内閣官房情報通信技術総合戦略室政府CIO補佐官 三木 浩平 氏
11:10	(1)自治体システム標準化の経緯と進捗(対象範囲・仕様項目) (3)標準化後の実装環境の可能性(ガバメントクラウド・回線) <質疑応答> (2)標準化法の条項とポイント(標準化法・戦略等) (4)2025年に向けた自治体の対応(予算・作業・実証事業) ※三木氏はパネル討論には参加しません。
11:20	2. 業務プロセス改善の標準モデルによる税業務改善 前橋市未来創造部情報政策課長 岡田 寿史 氏
12:05	(1)取り組みの背景・経緯 (3)事業の実施状況 (2)令和2年度自治体行政スマートプロジェクトへの提案 ①個人住民税業務 ②固定資産税業務 (4)今後に向けて
13:05	3. 自治体システム標準化とAPPLICの取り組み (一財)全国地域情報化推進協会(APPLIC)企画部担当部長 総務省地域情報化アドバイザー 吉本 明平 氏
13:55	(1)自治体システム標準化の考え方 (3)自治体システム標準化と地域情報プラットフォームの関係 (2)自治体システム標準化に対するAPPLICでの取り組み内容 (4)自治体システム標準化が目指す自治体DX
14:05	4. 自治体システム～介護保険・障害者福祉～の標準化に向けた動向 ～実態調査を踏まえた標準化の方向性について～ B2NEXT株式会社 金本 昭彦 氏
14:55	(1)実態調査から見てきた現状の問題点 (3)法定業務と自治体独自の事業の区分けの考え方 (5)帳票要件の考え方 (2)社会保障制度業務の標準化の考え方 (4)実装機能とオプション機能の考え方
15:10	5. [パネル討論] 情報システム標準化に向けて自治体・事業者は何をどう対応すべきか KUコンサルティング、電子自治体推進パートナーズ副会長 文部科学省「就学事務システム(学齢簿編製等)」の標準化を推進するための調査研究有識者検討会 座長 高橋 邦夫 氏
15:30	(1) [問題提起] 標準化検討会(文科省)に参加して考えたこと
17:00	(2) [パネル討論] 情報システム標準化に向けて自治体・事業者は何をどう対応すべきか 司 会：高橋 邦夫 氏/KUコンサルティング、電子自治体推進パートナーズ副会長 パネラー：岡田 寿史 氏(前橋市)/吉本 明平 氏(全国地域情報化推進協会)/金本 昭彦 氏(B2NEXT(株))

※セミナー終了後の恒例の情報交流・交換会は、新型コロナウイルス感染予防のため、今回は開催致しません。

【戦略セミナー開催要領】

＜新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催への対応について＞  
予防対策として、座席の間隔を空け、定期的な換気・アルコール消毒の実施等を行います。  
手洗いやマスク着用等にご協力下さい。

[会場]内田洋行 東京ユビキタス協創広場CANVAS・会議室(東京都中央区新川2-4-7)

[情報交流] 恒例の講師と参加者(希望者)による交流・交換会は今回は開催しません。

■下記申込書に所要事項を記入の上送付下さい(FAX/メール/下記HPから申込み下さい)。

■支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い  
請求書等書類が不要の方は開催日までに右記口座へ振込をお願いします(受講証/会場地図はメール送信)。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日受付でお渡します(日付、但書等の留意点を明記下さい)。

[参加費] 1名様/各回1回当たりの料金 注)第1回と第2回は別料金となります。

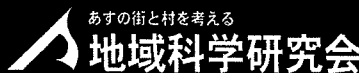
	第1・2回	当日参加	メディア参加(第1回)	メディア参加(第2回)
行政・職員	15,000円	16,000円	18,000円	18,000円
一般	30,000円	31,000円	33,000円	33,000円

※メディア参加申込みの方へは研修会開催後の(講演収録)及び資料と請求書をお送り致します。  
※第1回メディア参加には米田圭吾氏(総務省)のご講演は収録されません。  
※当日参加で申込み後に都合が悪く欠席される場合にはメディア参加または代理の方の出席とさせていただきます。

■支払(振込) 口座  
みずほ銀行麹町支店 普通1159880  
三井住友銀行麹町支店 普通7411658  
三菱UFJ銀行神田支店 普通5829767  
郵便振替:00110-8-81660 口座名:地域科学研究会

お申し込み・お問合せ【事務局】

E-mail machi@chiikikagaku-k.co.jp



東京都千代田区平河町2-3-10ライオンズ平河町101  
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993 〒102-0093  
URL: http://cloud.chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書(2021年 月 日)希望欄にレ印を入れて下さい】

- 第1回 「DX政策と推進方策」  当日参加  メディア参加
- 第2回 「情報システム・業務の標準化・共通化」  当日参加  メディア参加

団体・所属

住所〒

TEL	FAX	E-mail	連絡担当者
参加者氏名	所属部課役職名	参加者氏名	所属部課役職名
参加者氏名	所属部課役職名	必要書類(納品書( ) 請求書( ) 見積書( ) 領収書( ))	支払方法(銀行振込( ) 郵便振替( ) 当日払い( ))
請求書等宛名:			

## DX 政策と推進方策—自治体 DX 推進計画・推進手順書 参加報告・所見

主体的市民の会 荒木明美

日時：令和 3 年 7 月 1 日(木)

会場：内田洋行 東京ユビキタス協創広場CANVAS・会議室

主催：地域科学研究会

講師：米田圭吾（総務省自治行政局地域情報化企画室課長補佐）

笹野健（内閣官房番号制度推進室・内閣府番号制度担当室参事官）

庄司昌彦（武蔵大学社会学部メディア社会学科教授）

森浩三（神戸市企画調整局デジタル戦略部長）

榎並利博（富士通 Japan 株式会社行政ソリューションビジネス統括部、電子自治体推進パートナーズ会長）

### 1 自治体 DX の推進及び手順書について（米田圭吾氏）

- 1) 自治体 DX 推進計画について
- 2) （仮称）自治体 DX 推進手順書について

### 2 マイナポータルを活用による自治体の行政手続オンライン化の方策と推進（笹野健氏）

- 1) マイナポータルの UI・UX の改善
- 2) マイナポータルによる自治体の行政手続のオンライン化支援
- 3) マイナポータルの今後の展望

### 3 スマート自治体実現に向けた自治体 DX の実装化（小林一行氏）

- 1) なぜ DX が必要なのか
- 2) 自治体システム標準化・共通化
- 3) 自治体 DX 推進計画・手順書
- 4) DX 推進の際に考えたいこと

### 4 〔神戸市〕 DX の推進政策とデジタル人材の確保・育成方策（森浩三氏）

- 1) 神戸市の DX の経緯
- 2) DX を推進する人材確保と育成
- 3) 神戸市が考える DX の本質
- 4) DX 推進に向けた次の一手

### 5 自治体 DX の実装化と推進手順—どう捉え、実行するか～デジタル庁設置等の展開

## を受けた方策と検討事項（榎並利博氏）

- 1) デジタル改革関連法とデジタル庁設置
- 2) 自治体におけるDXとは何か、その本質と捉え方
- 3) 「自治体DX推進計画」と実行のための組織体制・実施手順・検討事項など
- 4) 自治体DXが目指すべき姿とその展望

国の自治体DX推進計画では、地方自治体が重点的に取り組むべき事項を具体的に示している。自治体が担う行政サービスについて、デジタル技術等を活用し住民の利便性を向上させるとともに、業務の効率化を図り、人的資源を行政サービスのさらなる向上につなげていくことが自治体の役割とされている。市民の利便性と効率化、両方をかなえることが必要だが、ゴール（令和7年）は決まっており、逆算したとしてもかなりタイトである。

今回研修を受けたことで、全体像とともに具体的な狙いを知ることができた。諸外国ではとっくに進んでいるデジタル化について、日本の国際競争力の低下などの原因の一つにICT活用の遅れがあるのではという話はよく聞く話だが、単に遅れているだけでなく、これまで推進してきたデジタル化は「目標・計画となったことを達成しない」ことで同じ失敗を繰り返してきた。デジタル庁が発足された今、進めるしかない。例えば「手順書」といっても、DX全体手順書というのは理念やDXの全体構造をやや情緒的に把握する上では良いのだが、実務者がこれを読んでも「で？（いつまでに何をすればよいのか？）」となってしまう（実務者が作業手順を知るのに読むべきは標準化・共通化に係る手順書）。また、国の方でも手順書などの公表が当初予定よりも遅れていることもあり、自治体はスケジュールだけが引かれて具体的な内容を掴めていないのは怖いことだとも感じる。推進を謳っても実現しなかったこれまでも引きずることなく、全国同じタイミングで、全ての人を対象として進めなくてはならないが、理想と現実の乖離、時間不足、様々な課題が残っていることを感じた。

デジタル化は距離・時間・空間を超えられるものであり、Society 5.0のような近未来の理想的な社会のベースになるものである。しかし、各自治体に落とし込んだ時に、各地で将来像を伴ってイメージが出来ているのかという点と甚だ疑問。そんな中で神戸市のデジタル戦略部長の話は非常に分かりやすいと共に、こういう市職員がいる自治体とそうでない自治体では大差があると感じた。自治体のデジタル化にはこの道に長けた船頭が必要。

デジタル化によって住民の利便性は効果がすぐ現れると感じるが、業務の効率化は短期的に見るとかえって手間が増える。オンライン申請、郵送申請、来庁での窓口申請、と選択肢が増えたことで市職員の業務は増えている。しかし今は過渡期であり、オンラインに一本化できれば今当たり前のことも今後はガラリと変わっていくので、将来像など共通認識を持ちながら進む必要があることが分かった。

## 情報システム・業務の標準化・共通化 参加報告・所見

主体的市民の会 荒木明美

日時：令和3年7月2日(金)

会場：内田洋行 東京ユビキタス協創広場CANVAS・会議室

主催：地域科学研究会

講師：三木浩平（内閣官房情報通信技術総合戦略室政府CIO補佐官）

岡田寿史（前橋市未来創造部情報政策課長）

吉本明平（全国地域情報化推進協会企画部担当部長、総務省地域情報化アドバイザー）

金本昭彦（B2NEXT株式会社）

高橋邦夫（KUコンサルティング、電子自治体推進パートナーズ副会長）

### 1 自治体情報システムの標準化とガバメントクラウドへの実装～検討経緯と2025年に向けた可能性について解説（三木浩平氏）

- 1) デジタル改革関連法とデジタル庁
- 2) 自治体システム標準化に向けた法案・方針
- 3) 自治体情報システムの標準化手法
- 4) 標準仕様書の検討
- 5) ガバメントクラウド経緯・方針
- 6) ガバメントクラウドの構造
- 7) ガバメントクラウド利用の回線
- 8) ガバメントクラウドへの移行
- 9) 自治体での移行作業
- 10) 先行事業
- 11) セキュリティポリシーガイドライン改定
- 12) ガバメントクラウドとセキュリティ
- 13) 自治体情報セキュリティクラウドとガバメントクラウド

### 2 業務プロセス改善の標準モデルによる税業務改善（岡田寿史氏）

- 1) 取組みの背景・経緯
- 2) 令和2年度自治体行政スマートプロジェクトへの提案
  - (1) 個人住民税業務
  - (2) 固定資産税業務
- 3) 事業の実施状況
- 4) 今後に向けて

### 3 自治体システム標準化とAPPLICの取組み（吉本明平氏）

- 1) 自治体史ステータス標準化の考え方
- 2) 自治体システム標準化に対するAPPLICでの取組み内容
- 3) 自治体システム標準化と地域情報プラットフォームの関係
- 4) 自治体システム標準化が目指す自治体DX

### 4 自治体システム標準化～介護保険・障害者福祉の標準化に向けた動向（金本昭彦

氏)

- 1) 標準化の目指す姿について
- 2) 標準化のスケジュールについて
- 3) 標準化仕様の検討方法について
- 4) 標準仕様書（介護保険）について
- 5) 標準仕様書（障害者福祉）について
- 6) 今年度の検討すべき課題について

5 〔パネル討論〕情報システム標準化に向けて自治体・事業者は何をどう対応すべきか（高橋邦夫氏他）

問題提起：標準化検討会（文科省）に参加して考えたこと

パネル討論：情報システム標準化に向けて自治体・事業者は何をどう対応すべきか

情報システムの標準化は、住民記録や税など17の業務を国が策定する標準仕様に準拠したシステムへ移行することが義務づけられた。自治体DXには6つの重点取組事項があるが、そのうちの情報システムの標準化・共通化が核となる。これまで、情報システムは各自治体が独自で調達しカスタマイズしてガラパゴス化が進んでいるが（函館市もホストコンピュータを持っている）、ガバメントクラウドという国のクラウドサービスを利用して国の仕様で決まった形に移行する。函館市がこれまで使っていたホストコンピュータをそのまま国の仕様に置き換えるということでは、DXのメリットは何もないため、どんなことが必要なのかを知るために本研修を受けたが、結論として、BPR（ビジネスプロセス・リエンジニアリング/業務改革）がキモだと感じた。そして、DXのD（デジタル技術の活用）よりも、X（変革）の方が重要であり、Xをベースに置いて検討しなければならないことも分かった。

函館市の情報システム化されている約100種類の業務について、移行後のシステムでの新たな業務フローが必要になる。標準化への移行の前に現状の業務プロセスを見直すこと、このBPRがきちんとなされないとかえって仕事が増えることになる。国が示す新しい業務フローと現行の業務フローを比較した上で、一つ一つの業務の差異を洗い出し、無駄を省き、対応方法を検討する。そのためには凝り固まった思考ではダメでX（変革）を意識しないと行かないので、現在の体制でそれが可能になるか疑問。CIO補佐官のような外部人材やプロジェクトチームのマンパワーの確保がないとただ忙しいだけ（大変なだけ）になりそうに感じた。また、函館市は情報システムを独自開発したホストコンピュータと個別のサーバーで運用しているが、ホストコンピュータを将来的に（DX推進にあたり）どうするのか早く結論を出す必要がある。そのためにも、業務改革で具体的な作業に入る前に、プロジェクト全体を見渡した戦略と設計、これが肝心であると感じた。



令和3年度

政務活動費支出伝票（一般）

会派名 主体的市民の会

伝票番号

3

代表者	経理責任者	支出年月日	区分	
		3年9月27日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・ <u>事務費</u>	
支払先 株式会社サンテックス			支払金額 15,400円	
摘要（品名）		数量	単価	金額
レーザープリンタトナー代		1	15,400	15,400円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

【領

領 収 証

№ 01516

主体的市民の会 荒木明彦 様

令和3年9月27日

金額		百	十	万	千	百	十	円
				¥	1	5	4	00

収 入  
印 紙

ご入金種別

現金	¥15,400
小切手	¥
銀行 振込	¥
相殺	¥
約手	¥
為手	¥

但し 1+Aとして

上記金額正に領収致しました

SUNTEX

株式会社 サンテックス

〒041-0844

函館市川原町7番5号

TEL(0138)84-8200

取扱者印



※領収責任者及び  
取扱者印ないも  
のは無効です

令和3年度

政務活動費支出伝票（一般）

会派名 主体的市民の会

伝票番号 4

代表者	経理責任者	支出年月日	区分
		3年10月29日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費
支払先 株式会社地方議会総合研究所			支払金額 25,000円
摘要（品名）	数量	単価	金額
「自治体経営と公共施設マネジメントの基礎」 「生き残るために自治体がすべきこと・できること」	1式	25,000	25,000円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

【領収書等貼付欄】

領収証

No. \_\_\_\_\_

主体的市民の会  
荒木明美 様

2021年10月29日

金額 **¥25,000**

内  
消費税等

(資料購入代)  
但 10月25日セミナー受講料として  
上記正に領収いたしました

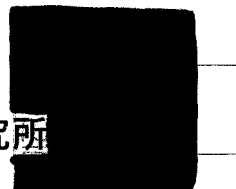
現金

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



同時開催！  
オンラインセミナー

議員・職員のための **コロナ時代の**  
**攻める公共施設マネジメント**

10月25日(月) in 東京

◆10:00～13:00

**自治体経営と  
公共施設マネジメントの基礎**

1. 行政の経営感覚
2. 地方自治法との関係
3. 公共施設等を取り巻く環境
4. 教科書型行政の限界と思考停止
5. 発想の転換
6. 指定管理者制度の可能性
7. 小さな取組の必要性

◆14:00～17:00

**生き残るために自治体が  
すべきこと・できること**

1. PPP/PFI事例
2. 行政と民間の立ち位置の変化
3. リアルな生き方
4. 生きる手段としてのPPP/PFI
5. ユルクトンガル
6. コロナと自治体経営
7. アカルイミライ



講師: **寺澤弘樹**  
【合同会社まちみらい 代表社員】

東京理科大学大学院理工学研究科建築学修了・流山市役所入庁後、同市総務部財産活用課ファシリティマネジメント推進室長、特定非営利活動法人日本PFI・PPP協会業務部長を経て、現職。また、姫路市PPP/PFIに関するアドバイザーや富山市PPP事業手法検討委員会委員等多数の委員を務める。第7回日本ファシリティマネジメント大賞奨励賞受賞。主な著書に「PPP/PFIに取り組むときに最初に読む本（学陽書房）」、「先進事例から学ぶ 成功する公共施設マネジメント」（共著）等多数。

(株)地方議会総合研究所

お申込みはホームページからお願いいたします。

議会総研

検索

※ホームページからお申込みいただけない場合は、  
下記FAX申込書にご記入の上、事務局宛にお送り下さい。

<https://www.gikaisoken.jp>

参加希望講座のチェックボックスに  
 をお願いいたします。

FAX 申込書 ➡ 03-6912-2280

フリガナ	
お名前	
貴議会名	
領収書 お宛名	
ご住所	(〒      -      )
TEL	(      )      -
FAX	(      )      -
E-mail	@

**10月25日(月) 10:00 ~ 13:00 東京**

**自治体経営と  
公共施設マネジメントの基礎**

**10月25日(月) 14:00 ~ 17:00 東京**

**生き残るために自治体が  
すべきこと・できること**

※オンラインによる受講をご希望される方は、  
チェックボックスにをお願いいたします。

**オンライン受講**

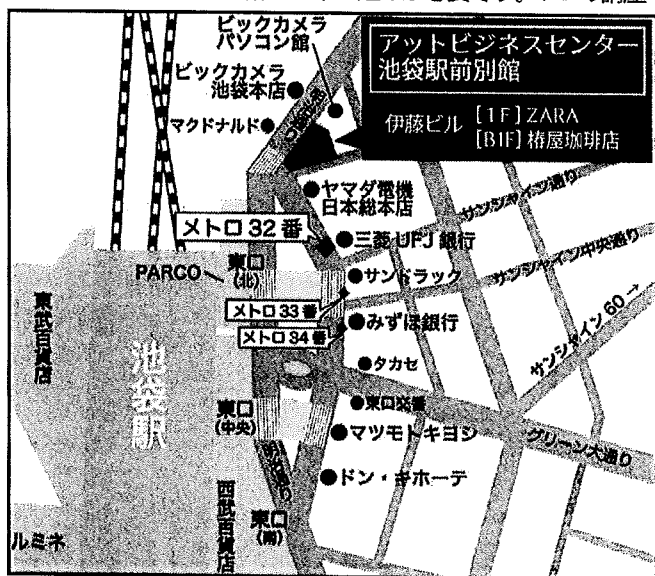
※オンライン受講ご希望の方は必ずE-mailをご記入ください。

★キャンセルは7日前までにメールまたはFAXにてご連絡ください。

※お申込み後、事務局から受講確認書をメールまたはFAXにてご送付させていただきます。

※受講確認書をご覧いただき、受講料は事前にお振込みをお願いいたします。

※お一人様につき1つの講座の申し込みが必要です。1つの講座の申し込みで複数人が視聴することはできません。



**受講料** 各講座受講 15,000円(税込)  
2講座受講 25,000円(税込)

**開催場所** アットビジネスセンター池袋駅前別館

JR山手線、埼京線、東武東上線、西武池袋線  
地下鉄丸の内線/有楽町線/副都心線  
池袋駅東口地下鉄32番出口 徒歩10秒

お問い合わせ・事務局

※各会場の詳細地図は、当研究所ホームページのセミナー会場に掲載しておりますのでご覧ください。

(株)地方議会総合研究所

112-0011 東京都文京区千石 2-34-6

<https://www.gikaisoken.jp>

TEL 03-6912-1930 FAX 03-6912-2280